

科目名	ワークショップ2						年度	2024
英語科目名							学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※ 講義
担当教員				教員の実務経験			実務経験の職種	

【科目の目的】

学校行事の配信業務や自主制作、産学連携課題への参加、資格取得へのチャレンジをすることで授業だけでは学べない、社会性やクオリティを磨く機会を設ける。

【科目の概要】

クリエイターのためのテーマごとの講座です。

【到達目標】

クリエイターに必要な知識、スキルを身につけることを目標とする。

【授業の注意点】

キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するための努力を怠る者は、成績を落とす。

評価基準＝ルーブリック

評価基準一覧（ノック）					
ループリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標A	業務について理解し、周囲への配慮や物事への関心を示し意欲的に参加している	業務について理解し、周囲への配慮ができるが、物事への関心がまだ足りない	業務について理解しているが、周囲への配慮や物事への関心がまだ足りない		
到達目標B	クライアントの求めを理解し、事前準備や的確な提案ができ、課題に対して積極的に参加している	クライアントの求めを理解しているが、事前準備が疎かで的確な提案ができない、課題に対しては積極的に参加している	クライアントの求めを理解できず、事前準備が疎かで的確な提案ができない、課題に対しては積極的に参加している		
到達目標C	資格、検定合格のために熱心に勉強に取り組み、努力した結果、みごと合格を掴み取れた	資格、検定合格のために熱心に勉強に取り組み、努力したが、合格をすることが出来なかつた	資格、検定合格のための勉強を疎かにして、合格をすることが出来なかつた		
到達目標D					
到達目標E					

【教科書】

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考资料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ワークショップ2			年度	2024
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価	日程
1	クリエイターの為の授業	クリエイティブなスキルを上げる為に学ぶ	1 産学連携	的確な提案、課題に対する積極性	3	
2			2 配信業務	業務理解や仕事の完成度		
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等